

《担当者名》○飯泉智子 i-zumi@hoku-iryo-u.ac.jp、飯田貴俊

【概要】

摂食嚥下障害の病態、検査、診断、治療に関する研究法について、先端的論文を購読することにより学ぶ。

【学修目標】

一般目標：摂食嚥下障害の病態、検査、診断、治療に関する研究方法について説明できる。

行動目標：

1. 摂食嚥下障害の病態、検査、治療に関する最新の研究について文献を参照し、解釈できる。
2. 摂食嚥下リハビリテーションに関する論文と、実際の臨床上の課題を結びつけることができる。
3. 摂食嚥下リハビリテーションに関する論文を基にディスカッションをおこない、レポートにまとめ、プレゼンテーションをおこなえる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	講義の概要、スケジュール、購読すべき文献を提示し、今後の進め方を説明する。	飯泉智子 飯田貴俊
2~13	摂食嚥下障害のリハビリテーション	摂食嚥下障害の病態、検査法、治療に関する論文を提示し、教員とともに購読し、研究法を学ぶ。	飯泉智子 飯田貴俊
14・15	まとめ	購読した論文に関するレポートを提出、プレゼンテーション、ディスカッションを行う。	飯泉智子 飯田貴俊

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート（80%）

講義中のディスカッション（20%）

【教科書】

指定しない。学術雑誌、論文を指定する。

【学修の準備】

1. 関連する文献、参考書を読み予習しておくこと（80分）。
2. 配布プリント、参考書で復習し理解を深めること（80分）。